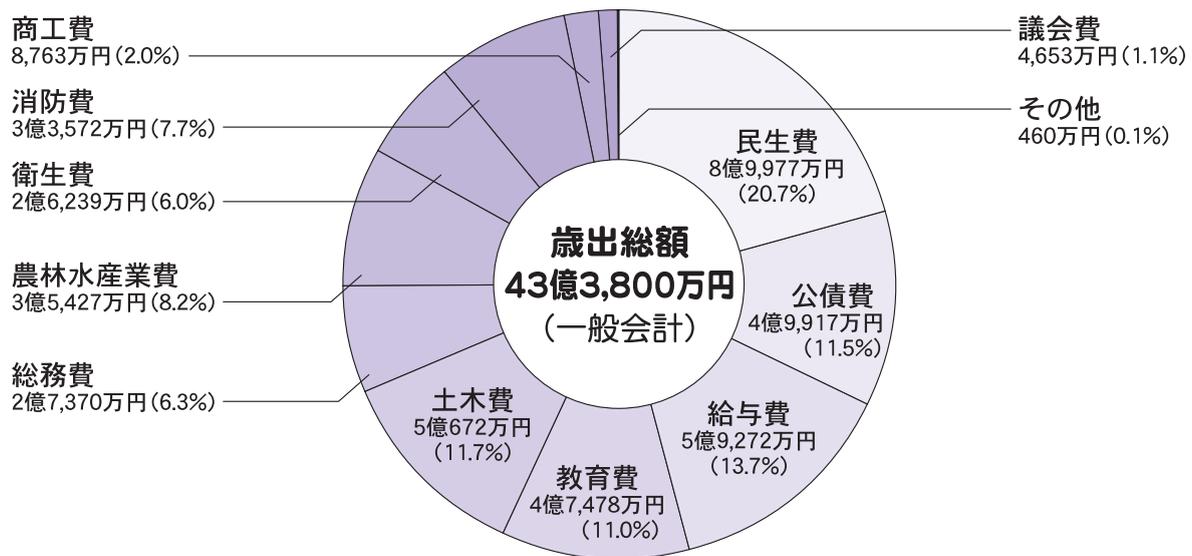


お金の使いみち

平成29年度会計別予算

会 計 名	平成29年度予算	平成28年度予算	前年度対比
一 般 会 計	43億3,800万円	41億1,200万円	5.5%
国民健康保険特別会計	5億8,000万円	5億5,830万円	3.9%
後期高齢者医療特別会計	4,950万円	5,190万円	△4.6%
介護保険事業特別会計	3億5,260万円	3億4,340万円	2.7%
介護サービス事業特別会計	1,050万円	1,820万円	△42.3%
簡易水道特別会計	4億0,070万円	9億9,250万円	△59.6%
下水道特別会計	2億1,220万円	2億1,970万円	△3.4%
計	59億4,350万円	62億9,600万円	△5.6%



歳出のあらまし

管理経費等については、前年度における予算計上額をベースとし、事務事業全般にわたる洗い直しにより、積極的な経常経費の抑制に努めました。人件費については、給与の独自削減の継続により抑制に努め、3年毎の退職手当組合清算納付金の減少などにより報酬や賃金なども含めた決算統計ベースで前年度比7.2%減の6億1,560万円を計上しました。投資的経費については、防災行政無線の更新や、橋梁長寿命化修繕計画に基づいた橋梁の予防的修繕事業、道営農業競争力強化基盤整備事業など計画的に実

施してきた事業を中心として、前年度比41.8%増の9億2,186万円を計上しました。公債費は、前年度比8.3%減の4億9,917万円を計上しました。今後、公共施設の耐震化や老朽化に伴う改修事業をはじめ大型事業が見込まれますが、国・道の補助金や町債を活用しながら、プライマリーバランスの堅持を目標とし、健全な財政運営に努めます。

プライマリーバランス

財政安定化の指標で、歳入総額から町債等の借入金を除いたものと、歳出総額から町債の元利償還金等過去の借入金返済に要する経費を差し引いたものとを比較した収支バランスをいう